Cassettes and Ghetto Blasters for the future

ラジカセ for フューチャー

大和田良、宇川直宏、中西俊夫、椎名謙介、FDSTASKI〈HIPHOP 最高会議〉ほか

監修　松崎 順一、熊谷 朋哉

7/22 Fri – 7/31 Sun 11:00-20:00

closed on Monday　Last day -18:00

オープニングレセプション　7/22 Fri 18:00-20:00

特別開催イベント

7/23(sat) 18:00-

松崎順一: 真夏の夜のカセット怪談＋カセット降霊会

Ticket: ¥1,000

7/24(sun)　12:00-

FDSTASKI〈ヒップホップ最高会議〉: トーク＋宙 J

Ticket: ¥1,000

7/30(sat) 17:00-

Tycoon Tosh + the Ghetto Blasterz: Live+Cassette DJ

Ticket: ¥1,500

各回限定 30 名・予約順

予約はギャラリーへのお電話、もしくは下記にメールにて。

event@slogan.co.jp　　http://www.slogan.co.jp

いま、ラジカセとカセットテープへの熱い視線が集まっている。ラジカセの中古市場価格は高騰し、レコードショップではアナログに続いてカセット売り場が新設され、世界各地にカセットテープ専門店が新たに出現している。人気ミュージシャンたちもこれまでの CD やダウンロードに加え、カセットでのアルバムリリースを行い始めた。
デジタル全盛の中、ラジカセやカセットテープというアナログなカルチャー/テクノロジーへの注目は何を意味しているのか?
書籍『ラジカセ for フューチャー』は、ラジカセブームの仕掛け人、家電蒐集家の松崎順一と編集者／プロデューサーの熊谷朋哉による、いま最も新しいものとしてのカセット/ラジカセの現在と未来を明らかにする一冊である。

tokyoarts gallery では、その書籍内容を受け、日本写真界の最前線に立つ大和田良、メディア・アーティストにしてアーカイバー“現在美術家”宇川直宏、プラスチックスと MELON を経て日本にヒップホップをもたらした中西俊夫、“スネークマンショー”選曲家にしてブームボックスデザイナーの椎名謙介、そして日本ラジカセの重鎮、〈HIPHOP 最高会議〉FDSTASKI を迎え、世界最先端のラジカセ＋カセット展を開催する。
大和田良による圧倒的なラジカセ作品オリジナルプリント、宇川直宏によるカセット作品、中西俊夫による絵画作品、椎名謙介と FDSTASKI によるオリジナルラジカセ等が展示・出品される。
期間中はラジカセやカセットに関する特別イベントも開催される。

監修
松崎 順一: 家電収集家、デザインアンダーグラウンド工場長。1960 年東京生まれ。デザイン会社を退職し、2003 年にデザインアンダーグラウンドを設立。東京都足立区内にファクトリーを構える。日本製ラジカセやレトロ家電の魅力を伝える“レトロフィッター”として、主に 1970 年以降の近代工業製品を発掘・蒐集し、整備・カスタマイズしてイベントやアート展を企画。

熊谷 朋哉: 編集者、プロデューサー。株式会社スローガン代表取締役。アート/音楽系の書籍や広告/イベント/展覧会等を数多く手がける。編著書に『Yellow Magic Orchestra×SUKITA』、『四代目 市川猿之助』、『坂本龍一+編纂チーム/いまだから読みたい本・3.11 後の日本』、『デヴィッド・ボウイ・アーカイヴ』、『中西俊夫自伝/プラスチックスの上昇と下降、そしてメロンの理力』展覧会に『Time - David Bowie by Masayoshi Sukita』等多数。

書籍
ラジカセ for フューチャー: 新たに根付くラジカセ・カセット文化の潮流
松崎 順一（著）熊谷 朋哉（編集） 誠文堂新光社

tokyoarts gallery
東京都渋谷区東2-23-8
Tel.03-6427-6665 info@tokyoarts.com www.tokyoartsgallery.com